

IVR 日本支部運営委員会議事録

日時：2018年1月6日（土）10時～12時半

場所：同志社大学光塩館地下大会議室

出席：瀧川裕英（支部長），宇佐美誠，戒能通弘，川瀬貴之，高橋洋城，土井崇弘，野崎亜紀子，横濱竜也，足立英彦（事務局長），（オブザーバー桜井徹（IVR 理事））

報告・審議事項

(1) 前回の議事録承認

前回（2017年11月17日）の議事録案及び議事メモ案を誤字訂正の上で承認した。

(2) IVR 理事会について

桜井 IVR 理事より，前回運営委員会以降はとくに新たな動きはない旨の報告があった。

(3) 第1回 IVRJ 国際会議について

1. 会場関係：戒能委員が別紙に基づき説明した。
2. その他，未決定事項について瀧川支部長より説明があり，主に下記の通り確認した。
 - ① 会議の名称：英語の正式名称を“The 1st IVR (International Association for Philosophy of Law and Social Philosophy) Japan International Conference”，略称を”The 1st IVR Japan International Conference”，日本語の名称を「第1回 IVR Japan 国際会議」とする。
 - ② 会議当日のタイムテーブル：別紙の A 案（10 sessions 30 名），B 案（12 sessions 32 名），C 案（18 sessions 54 名）を基本とし，報告者数が確定してから決定する。54 名を超える場合は，一部の Session を 4 報告とするか，午後の Session を 30 分延長して 4 報告とするなど柔軟に対応し，なるべく多くの報告を認めることを原則とする。
 - ③ visa 関係：visa を必要とする報告者に対しては査読を優先的に行った後，報告可の者に対して，招聘理由書・滞在予定表等を作成するために必要な情報を問い合わせるメールを送信する。その情報を基に必要な書類を作成し，本人に送付する。

(4) 第2回 IVR Japan 国際会議について

瀧川支部長が別紙に基づき主に以下の点について説明し，確認した。

1. 日程：次回運営委員会で委員は少なくとも 1 名の神戸レクチャー候補を提案し，11 月の運営委員会で検討，2019 年 1 月の運営委員会で候補者を決定する。CFP は 2019 年 12 月より。会議日程は候補者が決まってから候補者の意向に基づき決定する。
2. 神戸レクチャー講師の候補者の選定原則は，第 1 回と同様，「女性，なるべく日本から近い国の研究者（旅費節約のため），若手または中堅，著名，多くの聴衆を見込める」とする。なお，すべての条件を満たす候補を探すという趣旨ではないことも確認

した。あわせて、もう一つの基調講演の講師も選定が必要であることを確認した。

3. 会場：複数の候補が挙がり、今後検討していくこととした。

(5) 新入会/退会者の承認

一名の入会を承認。なお、入会（運営委員会で承認した日の年度）初年度は会費請求しないため、同氏には 2017 年度会費を請求しない。また、自然退会者に特段の連絡はしない（5年目の請求で、支払わなければ自然退会になることを明記しているの）ことも確認した。退会なし。

(6) その他

桜井 IVR 理事より、来年の世界大会で任期満了となる桜井の後任として瀧川支部長を推薦したいという提案があり、承認した。

次回運営委員会：7月29日（日）10時または10時半より、場所未定。

以上